

ほくの
おすすぬ

～水戸の神社・お寺～

水戸市東三の丸小学校
5年1組 石川翼

1. 研究したわけ 2. 研究のすすぬ方

3. 研究したこと

- ①水戸東照宮 ②水戸八幡宮 ③吉田神社 ④茨城県護国神社
⑤大井神社 ⑥穴地蔵寺 ⑦神崎寺 ⑧祇園寺
⑨定善寺 ⑩和光院
4. 研究してわかつたこと

開 水戸の神社・お寺の位置



ほくのおすすめ水戸の神社・お寺!!

1. 研究したわけ

ほくは歴史が好きです。歴史を勉強するうちに、神社やお寺好きになりました。水戸にはたくさん神社やお寺があります。ほくのおすすめの神社やお寺を知ってみたいと、この研究をはじめました。

2. 研究のすすめ方

本やインターネットなどで神社やお寺を調べて実際に参拝に行きました。

3. 研究したこと



水戸東照宮 ^{みづのとうしょうみや} ①
白鳥 ^{しろとり}

水戸宮町 2-5-13

(祭神) 徳川家康 徳川頼房 (とがあいや
お) (とがあよふさ)

(由緒書)

水戸東照宮は、元和七年(1621年)4月2日
水戸初代藩主徳川頼房公が父徳川家康
公の御霊をこの地に祀ったのがはじまり
です。 (別名) 榑現さん

↓ 社殿

↑ 唐門

(祈願)

学業成就、家内安全

交通安全など

(文化財)

徳川家康が作らせた安永
車などがあります。



御朱印 →



★ 唐門の天はうの絵がしてあります

②

水戸八幡宮

本殿→

水戸市八幡町8-54

(祭神) 誉田別尊(ほんたわけのみこと)

息長足日売尊(おきながたらひめのみこと)

姫大神(ひめのおおみ)

(御鎮座地) 常陸國水戸白方箕山(茨城県水戸市八幡町)水戸駅の北西2キロかつては水戸城最外堀がすぐ背後にあり、遠く日光、久慈の連山、那珂川の清流を眼下に望む高台に位置し、茨城百景、茨城観光百選、市民が選ぶ水戸百景の上位で選定されています。

(祈願) 商業繁栄、五穀豊穡、合格、学問成涼尤、火伏せ、病氣平癒、子育て、厄除け

(由緒) 文禄元年(1592)、水戸城主佐竹義宣が、久慈郡太田(常陸太田市)から現在の北見町に移り守り神としました。元禄7年(1694年)には元圀の命で那珂西に移りましたが、宝永4年(1707)に現在の地に祀られました。武の神、商業の神、豊業の神として長い間信仰されてきました。境内は老杉におおわれ、恵川春日におこを御涼所としました。

★八幡宮本殿は国の重要文化財となっています。本殿の朱色はとてあざやかでぼくのおすすめです。



御朱印→



吉田神社

③

(常陸第三宮) 水戸宮内町3193
(祭神) 日本武尊(やまとたけるのみこと)

(由緒) 神社の歴史は日本武尊が東征の帰途、この朝日山に休まられたとき神社を創建したといわれ、今から1500年前になります。

地元では「吉田さん」の愛称で親まれています。その創建は、顕宗天皇(485年)〜仁賢天皇(498年)の時代と言われており、全国の日本武尊を祀る神社では最も歴史が古い神社です。

(祈願) 家内安全、商売繁昌、社内安全、営業繁栄、交通安全、学業成就、工業安全、厄難消除、病氣平癒、初宮詣り、必勝合格

(又モ) 常陸一の宮は鹿島神宮、二の宮は「静神社」です。★宮司さまとてもやさしく自然を感じられる神社です。

水戸見川1-2-1(水戸製)流れ作

(祭神) 県内殉国の烈士並びに尊が没入

重臣の霊(祭日)春例祭(4月10日)秋例祭(11月10日)

(祈願) 先祖且供養、家内安全、学業成就、子育て

(由緒) 昭和22(1947)年、赤松山神社に再度改称され、昭和29(1954)年に茨城県護国神社に復称し今に至ります。

現在は、隣接する「赤松山」と共に「赤松」の名所として知られており、見頃の時期は多くの入で賑わっています。

茨城県護国神社

④ 印がたまいます。★正月には正月限定御朱

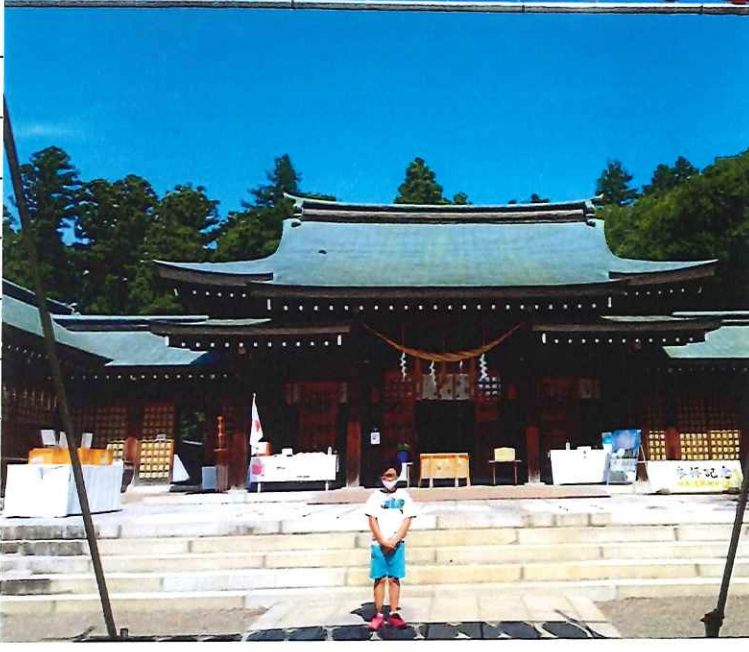


御朱印



←御朱印

→社屋



⑤

大井神社 おおいびんじや

水戸市飯宮町3475

(祭神) 建借鳥命 (たけかしまのみこと)

木花開耶姫命 (このはなさくやひめのみこと)

延喜式内 式内小社 大井神社 (論社)

(御祭神) 御祭神が東国開拓の神ゆえに、

建政・開発、また古来産の守護神として著名

末社に学問の神「北野天満宮」、方位の神「八

方神」、馬出神社、稲荷神社、金刀比羅神社、

巽神社、椿天神社等あり)

(御由緒) 祭神は、中国産の祖。奈良時代以前

からの古社で有力な郡領宇治部氏の奉斎とされてい

る。水戸市愛宕町の愛宕神社や軽井沢の三島山の祭

神の墳墓と伝えられ県内屈指の規模を誇る。

大井神社のものは、意富比(おほひ)神

社であり、意富は意富と書き、これが飯宮の

語源です。当社は、延喜式内小社で、那賀群

七座の筆頭社として登記されている。

水戸藩主徳川光圀公の崇敬篤く、公は那

賀守護のため石印を奉納した。安政年間徳

川齊昭公命により現社の拝殿が造営された。

(文化財等)

・円筒埴輪(神域より出土)

・神鏡(延宝5年9月徳川光圀公奉納)

・画額(鶴、蘭金葉、天保5年6月6日徳川

齊昭奉納)

・良弓一張(明治6年徳川昭武奉納)

★朱印帳に宮司さんが朱印を書いたあとにそ

のをしてくれました。



大井神社 一の鳥居



→ 御朱印



⑥
 六地蔵寺
 水戸大師
 真言本山
 (正式名称)
 水戸大師六地蔵寺
 (俱利伽藍山、聖宝院)
 (本尊) 六地蔵菩薩
 (由緒) 六地蔵寺は大塚
 氏、佐竹氏、水戸徳川氏
 と代々の領主から厚遇さ

れた。江戸時代には、御朱印をあたえられ末寺二十五ヶ寺を有する本山です。
 (文化財) 文化財数は平安時代〜室町時代の物を中心に
 3000点余にのぼります。関東では、金沢文庫、足利学校に続く3番です。



→ 樹齢1000年を越える大杉や八百年の
 銀杏、枝垂れ桜等があり、四季折々の
 景観が見られます。
 ★ 樹齢1100年 いかんば入をみたとき
 とおびやりました。



→ 御朱印

⑦

糸車崎寺 かみさざ

(御本尊) 大日如来

(宗派) 真言豊山派

(山別) 笠原山

(院別) 東光院

(由緒) 創建年代は不明で

あるが、ただ「長承二年(1132)

の銘が入った銅製経筒

が、1681年(貞享4年)に境内

から出土しており、少なくとも

平安時代後期にすでに存

していたとされます。(ご詠歌) 梅の香下のせてみちびくみおとえに、あ

いのみ堂、ほのおあかむ(祈願) 安産子育て

北関東三十六不動尊霊場の27番札所 → 2つとも神崎寺の札所

東国三十三観音霊場札所 ですよ。



→ 御朱印 ★ きれいに清められていて、とても整っているお寺ですよ。

水戸にも大きな仏様、観音様が居る!!

境外から屋根が見える立派な塔ですよ。
二重の塔

大通りから覗いたしか見えません





祇園寺
(宗派)曹洞宗(山号)壽昌山
(創建)1712年
(開基)徳川光圀公
(開山)心越禪師
(本尊)釈迦如來
(由緒)心越は延宝5(1767)年に来山、天和元年(1760)光圀公の招請で水戸の天徳寺に住し、元禄8(1695)年の死去までこの寺で過ごしました。

△本堂

正徳2(1712)年、四世大寂界仙(だいじやくかいせん)のとき、従来の徳宗山(とくそうざん)天徳寺を河和田村に移し、そのあと壽昌山(じゅうしょうざん)祇園寺と改め心越禪師をもって開山としました。曹洞宗壽昌派の本山となり、今約100石を有します。境内には、心越の墓塔、元禄7(1694)年のえせ、金剛尊天童があります。また、水戸落姫で諸難を生き



△山門

躍した市川氏、朝比奈氏らの墓所があります。近年の著名人では、洋画家の中村登、詩人の山村暮鳥、漫画家の山田みのるの墓があります。
 ★とても整備されていて緑がきれいなお寺です。
 ここでは座禅体験をさせてもらいました。毎年、一回親子座禅をしているそうです。ぼくもつをいれもらいました。



→御朱印



本堂は へごをいれます。

定善寺 (浄土宗) 院号 天照院
山号 普川山

(本尊) 阿彌陀如来
(由緒) 永禄12(1569)年、行登上人により下荒地村(現、常陸太田市)に建立された寺院でその後、現在の地に移転した。東日本大震災により大きな被害を受け、本堂が使用不可となりました。平成27年に現、本堂が再再建された。山門は非常にどくじの物で例がありません。本尊の本尊阿彌陀如来像と両脇侍立像は水戸有光文庫に指定されています。



→ 山門
別名 水戸様の殿
たかが帰りに石がたかまふ名由来です。

な山門で水戸様の殿の帰りに石がたかまふ名由来です。



★ たくさんのお話をうかがいました。本堂がこわれたときにたくさんの方から直すのにたくさんのお気持ちをお願いしたそうです。感謝の気持ちを大切にしておりました。

ときにたくさんのお気持ちをお願いしたそうです。感謝の気持ちを大切にしておりました。

⑩

和光院

真諫智山派伝燈
 山和光院明樂寺
 (由緒)和光院は、真
 諫智山派伝燈山
 和光印明樂寺とい
 います。南北朝時代
 に鹿嶋に開基された
 と伝わります。ご本尊は



地蔵菩薩で弘法大師の作と言われている。また不動堂に安置されている不
 動明王の胎内佛、血不動明王も弘法大師の手にお切りと伝えられています。
 不動明王より流れた鮮血で描かれた血不動尊が寺宝として大切に保存
 されています。



→ 田島の血不動尊
 不動明王より流れて
 た血でえがかれた。

不動堂 →

4. 研究してわかったこと

どここの不申土もお寺の御先祖様からひきついできたものを大切にしていまは
 「御先祖様がいて今の和光院がいます。人は人では生きられません。すべて
 のものに感謝して、心おたやかに生きてほしい。」と定善寺の方がお話してくださ
 した。水戸には素晴らしいお寺や不申土がたくさんあります。ここにはいかに
 されませんでしたがおまわりをして、少しでもみんなの心が「おたやかに」な
 り、平和な世界になつたらいいと思います。